

第 1 回 遠野市地域未来投資推進協議会 会議記録

【開催概要】

- 1 日時 令和 2 年 1 月 16 日(木) 11 : 00 ~ 11 : 45
- 2 場所 遠野市役所 本庁舎 3 階 大会議室
- 3 出席者

(1) 構成員

会長	遠野市	産業部長	中 村 光 一
	岩手県	県南広域振興局経営企画部 産業振興室長	田 中 聡
	遠野商工会	岩手県商工会連合会 企業支援グループ 県南広域支援担当	河 内 夕希枝
	株式会社岩手銀行	遠野支店長	畑 山 英 己
	株式会社東北銀行	遠野支店長	備 前 修
	国立大学法人岩手大学	三陸復興・地域創生推進機構 地域連携推進部長	早 川 浩 之

(2) オブザーバー出席

	大野ゴム工業株式会社	常務取締役	伊 藤 信一郎
		遠野工場長	深 沢 修 司
	株式会社岩手銀行	遠野支店次長	杉 村 貴 章

(3) 事務局

	遠野市産業部	商工労働課長	新 田 正 宏
		副主幹	永 田 裕
		企業支援相談員	鈴 木 まゆみ

【会議記録】

1 開会

(事務局 永田事務局員)

只今から、第 1 回遠野市地域未来投資推進協議会を開催する。

2 挨拶

(遠野市 中村産業部長)

遠野市では今年度から国の地方創生推進交付金を活用し、自動車関連産業、成長ものづくり分野の産業集積に取り組んでいる。

昨年3月には大野ゴム工業が地域経済牽引事業計画を作成し、岩手県から承認されている。今後、大野ゴム工業を中心に関連企業であるビックフィールドの本社機能の移転や、ゴム製品の物流拠点の整備などが計画されている。遠野市としても、国や県から支援を頂きながら、大野ゴム工業の事業計画を後押ししたいと考えている。

国の地方創生の活用にあたってはKPI（重要業績評価指標）によるプロジェクトの進行管理が重要になってくると考えている。本協議会では産学金官の連携によるプロジェクトの評価とともに、今後の遠野市における成長ものづくり分野の集積に向けたあるべき姿を、関係機関団体の皆様と一緒に取り組んで参りたいと考えている。

本日出席の皆様には、忌憚の無い意見を頂ける場としたい。

3 議事

（事務局 永田事務局員）

議事に先立ち議長を選出を要する。ただし、本協議会は本日設立のため、現段階で議長選出に関する規定を設けていない。従って、議事進行を行う仮議長を選出して議事を進めて頂くことになる。

事務局としては、本協議会の設置に関しては、遠野市が作成した地域再生計画及び地方創生推進交付金実施計画のプロジェクトの進行管理の役割が大きいことなど勘案して、遠野市から仮議長を選出したいと考えている。

仮議長には、遠野市 中村光一産業部長を選任してよろしいか伺う。

（構成員）

－異議なし－

（遠野市 中村産業部長）

それでは、仮議長を務めさせていただく。

(1) 議案第1号 遠野市地域未来投資推進協議会の設置について

（仮議長 遠野市 中村産業部長）

議案第1号について事務局から説明してください。

（事務局 永田事務局員）

－議案第1号のとおり説明－

（仮議長 遠野市 中村産業部長）

只今の説明に対し、質問・意見はございますか。

（構成員）

－特になし－

（仮議長 遠野市 中村産業部長）

議案第1号について承認いただくことでよろしいか。

（構成員）

－異議なし－

（仮議長 遠野市 中村産業部長）

議案第1号について承認頂いた。

(2) 議案第2号遠野市地域未来投資推進協議会規約(案)について

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

議案第2号について事務局から説明してください。

(事務局 永田事務局員)

－議案第2号のとおり説明－

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

只今の説明に対し、質問・意見はございますか。

(岩手県県南広域振興局 田中産業振興室長)

地域再生協議会は、説明のあった規約(案)の項目を盛り込むことになっているのか。

(事務局 永田事務局員)

地域再生協議会の規約に関するひな形は無いが、協議会の役割など考慮し、これらの項目を盛り込んだ。

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

ほかに質問・意見はございますか。

(構成員)

－特になし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第2号について承認頂くことでよろしいか。

(構成員)

－異議なし－

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

議案第2号について承認頂いた。

(3) 議案第3号 役員の選出

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

議案第3号について事務局から説明してください。

(事務局 永田事務局員)

－議案第3号のとおり説明－

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

役員の選出方法について、お諮りする。

(岩手県県南広域振興局 田中産業振興室長)

事務局案で。

(事務局 永田事務局員)

事務局としては、会長に遠野市産業部の中村部長。監事に岩手銀行の畑山支店長を考えている。

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

議案第3号について事務局案のとおり選任することでよろしいか。

(構成員)

－異議なし－

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

議案第3号について事務局の案のとおり、会長には遠野市 中村光一産業部長が、監事には株式会社岩手銀行 畑山英己遠野支店長が、それぞれ選任された。

なお任期は、本日から令和4年3月31日までとなる。

よろしく申し上げます。

(仮議長 遠野市 中村産業部長)

只今の会長選出により、規約では会議の議長は会長が務めることとされている。

今後の議事からは、議長として議事進行させていただく。

(4) 議案第4号 令和元年度事業計画(案)等について

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第4号について事務局から説明してください。

(事務局 永田事務局員)

－議案第4号について説明－

(説明要旨)

①事業計画

・関係機関・団体の連携促進

今年度は地域経済牽引事業者の大野ゴム工業の状況把握を協議会の事業活動の重点に取り組む。

・調査・広報・人材育成等

地域経済牽引企業の状況調査として、2月下旬に大野ゴム工業の栃木県の工場見学や矢板の物流センターの視察を計画する。

なお、広報は1月中に遠野市のホームページ内に協議会立ち上げを掲載予定。

・事業の発掘・育成・支援

自動車関連産業など成長ものづくり分野を支援するため、国の地域再生支援利子補給金制度の活用を目指し、地域再生計画（設備投資促進による遠野市ものづくり産業活性化計画）の検討を1月に行う。

なお、本制度の活用に関しては、昨年岩手銀行遠野支店長から「地域再生支援利子補給金制度を活用したい」との申し入れを受けて、本協議会でも検討するもの。

②収支予算

収入の部について、今年度は遠野市からの負担金 50 万円を協議会の活動経費に充てる。

支出の部は、大野ゴム工業の見学等の経費に充てていく。

(議長 遠野市 中村産業部長)

質問・意見はございますか。

(構成員)

－特になし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第4号について承認頂くことでよろしいか。

(構成員)

－異議なし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第4号について承認頂いた。

(議長 遠野市 中村産業部長)

以上で本日の総会で用意した議事が終了する。

構成員各位の議事進行への協力に感謝申し上げます。

4 その他

(事務局 永田事務局員)

その他について、構成員各位からこの際何かあるか。

(岩手大学 早川地域連携部長)

現在、国立大学ではリカレント教育が推進されている。今後、大学に対し、どのような人材、能力を必要とするか大野ゴム工業に伺いたい。

(大野ゴム工業(株) 伊藤常務取締役)

ICT、SEなどコンピュータ技術を備えた人材を望む。特に品質管理における専門知識、或いは研究分析においては鉱物資源の知識なども必要としている。

どちらかと言えば、高等教育機関には、間接要員としての人材が要望されている。

遠野市中には人材が豊富にいますので、企業を知るチャンスがあればよい。

なお、海外輸出向けに関する受注は24時間に対応している。もちろん英語で注文が来るため、英語が話せる人材が必要。

一方国内は、自動車整備工場がある地域全部に当社のカタログが入っている。なお、カタログのデザインとレイアウトは外注しており、印刷は遠野市職業訓練協会に委託している。

遠野市を中心とした岩手県の中で、今後いかに業務をまとめるか、協力頂けるところは県内企業との連携でやらせていただきたい。

ちなみに、ゴム産業には現在外国人労働者の受け入れが認められていない。業界からも国に要望を出しており、2022年には外国人の受け入れが可能となると目されているようである。

(岩手大学 早川地域連携部長)

人材面では、地元の遠野高校や遠野緑峰高校などで実社会と接する機会を設けていくと、人材確保につながるのではないかと。

八幡平市ではITのスパルタ塾を行っており、技術を身に付けた上で自立を目指す事が出来るといった事業を実施している。これには、市外、県外からの参加者が多いと聞く。

こういった事業をうまく活用できないか。

(大野ゴム工業(株) 伊藤常務取締役)

企業間でも連携、グループで協力しながら、事業を行うことも考えていきたい。

なお、今年度から岩手大学と共同研究を始めている。研究では、理工学部で平原教授が電気自動車のゴムホース破損劣化の原因究明までできた。電気自動車やハイブリット車は国内だけでなく世界的な普及が見込まれる。微弱電流を原因とするゴム製品破損劣化を防

止する技術開発をして、製品の安全性を高めたい。

(事務局 永田事務局員)

今月は地方創生推進交付金実施計画の提出期限となっている。次年度の事業における共同研究について、電気自動車のゴムホース破損劣化を防止するための研究により重点を置いた計画に変更し、国に提出する。

(岩手大学 早川地域連携部長)

人材確保について、11月の岩手大学の大会を見た先生や学生から、就業に関してもっとわかりやすい紹介資料が無いかとの話があった。地方創生の事業で、そういった資料を作ってダメなのか。

(事務局 永田事務局員)

同様の話は、高校生を対象とした企業見学、インターンシップでも学校から言われている。雇用確保では、とおのてくらす&はたらく若者定着促進事業を委託している萩原印刷からも同様の指摘があった。軽微な事業変更で事業計画を見直し、学生や若者が1人でも遠野に定住・就業してもらおうよう、紙媒体(パンフレット)、映像(YouTube)、インターネット(ホームページ)を組み合わせた紹介方法を探ることにする。

(県南広域振興局 田中産業振興室長)

今回の地域未来投資推進協議会と地域再生協議会の関係について説明願う。

(事務局 永田事務局員)

本日設置の地域未来投資推進協議会は、遠野市の地域再生協議会としての位置づけを持つ。設置根拠は、地域再生法となる。

(事務局 永田事務局員)

ほかに意見が無ければ、本日用意した資料について説明する。

－資料1について説明－

昨年認定を受けた地域再生計画と地方創生推進交付金実施計画の事業評価を本協議会が担っていく。

－資料2及び資料3について説明－

地域再生計画と地方創生推進交付金実施計画は平成31年3月に認定を受けた。

計画ではゴム関連の製造出荷額が2017年時点で4.1億円となっているが、これを3年間の計画期間で3.0億円程上げる目標としている。

なお、現在令和2年度の予算編成作業に取り組んでいる。令和2年度の事業費では、ビッグフィールドの倉庫整備に要する総事業費が約3億円と見込まれており、この20%が市からの補助となる。当初予算では事業費が固まらないため、6月補正予算での対応が想定されている。

(県南広域振興局 田中産業振興室長)

地域再生支援利子補給金制度は、現行の計画とは別なのか。

(事務局 永田事務局員)

現行の計画ではなく、新たな地域再生計画の認定申請を要する。地域再生支援利子補給金制度を活用するためには、地域再生計画が必要。これまで岩手銀行と協議して計画内容を詰めてきた。現在、内閣府の地域再生計画の事前相談中。国の助言を踏まえ、計画書を仕上げていきたい。

(岩手銀行 畑山遠野支店長)

地域再生支援利子補給金制度を活用できるのは、地域経済牽引事業者である大野ゴム工業さんだけになるのか。

(事務局 永田事務局員)

それも含めて、現在国に相談中。計画の概要について協議したいが、詳細は国の事前相談の回答が出てから詰めてくこととする。

最後に、協議会の今後の予定について説明する。

総会での事業計画で承認頂いたとおり、2月に大野ゴム工業の栃木の工場見学を予定している。また、2月下旬には同社が機械要素技術展に出展する計画があるため、栃木の工場見学と合わせて日程調整できないか調整する。

日程調整は、大野ゴム工業と相談の上、関係各位に案内する。

また、協議会の主な役割である事業評価については、今年度が事業計画の初年度に当たるため、実際には新年度を迎えてから協議を行う。

5 閉会

(事務局 永田事務局員)

以上で第1回遠野市地域未来投資推進協議会を閉会する。